

横須賀の2040年を考える学習会 第3回

# 2040年の AI社会到来を考える

2018年3月10日(土) 14:00~17:00

横須賀市医師会館 大会議室 横須賀市新港町1-11  
TEL 046-822-0542

参加費 500円(税込) **事前申込不要**

基調講演 「AI・ロボット時代における地域経済と雇用」

近藤 恵介 氏 (独立行政法人経済産業研究所 研究員)

リレートーク 「横須賀市 2040年へのまちづくり」

・行政の視点から 「横須賀市の産業経済の現状と将来について」

蒲谷 弘幸 氏 (横須賀市経済部経済企画課課長)

・市民の視点から 「AIと横須賀 2040年の暮らし」

山口 義則 氏 (行政書士・横須賀の2040年を考える会世話人)

・医療の視点から 「AIと医療」

山下 晃平 氏 (横須賀市医師会理事)

**イベント「2040年へ向けての大合唱！」(13:30 ~ 13:50)**

主催 横須賀の2040年を考える会  
横須賀市医師会

後援 横須賀市  
横須賀市社会福祉協議会

お問合せは 横須賀の2040年を考える会事務局 佐藤

メール: yokosuka2040@gmail.com 電話: 090-5864-4031 FAX: 046-897-1174

# 基調講演 「AI・ロボット時代における地域経済と雇用」

講師：近藤 恵介 氏



独立行政法人経済産業研究所 研究員  
神戸大学経済経営研究所 ジュニアリサーチフェロー

神戸大学大学院経済学研究科博士課程修了  
経済学博士

## 講演概要：

近年、人工知能(AI)・ロボットによって人間の雇用が奪われてしまうのではないかと懸念が高まっています。その一方で、日本では少子高齢化や人口減少による労働力不足の解決手段として、AI・ロボットの活用も同時に期待されています。このような将来への不安と期待が入り混じるなか、AI・ロボットと人間が共存していくためには、我々個人、企業、政府はそれぞれどのような対策、戦略、政策を取っていくことが必要となるのだろうか。

本講演では、特に地域経済と雇用の観点から、AI・ロボットがもたらす社会への影響をお話しします。

## 横須賀の2040年を考える会



2040年、人口減による楽観できない社会が到来するととらえ、地域や社会への危機意識を共有する人々の想いをカタチや行動として展開していくことが求められています。

この会は、一つの固定した集合体と考えるのではなく、ネットワーク型の柔軟なつながりであり、地域の課題として、医療、コミュニティ、福祉、子育て、高齢者介護、まちづくりなどについて、それぞれのメンバーの方々が関わっているフィールドに共感し、方法や情報を交流させたり、プロジェクトでのマッチングや協働において、共に行動してゆけるプラットフォームです。

### ❖ これまでの活動 ❖

2016年7月13日 発起学習会 講演会

講演①「看取りを持続可能にする地域コミュニティ」

小澤竹俊氏(一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会)

講演②「最期まで住み慣れた場所で～横須賀市の在宅療養連携推進の取り組み」

川名理恵子氏(横須賀市健康部地域医療推進課課長)

講演③「三浦半島を元気にするリビングラボラトリー」

石井慎一郎氏(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部教授)

2017年2月18日 第2回学習会 講演+パネルディスカッション

①基調講演「コミュニティ・カフェで紡ぐ地域のつながり」

昌子住江氏(NPO 法人アクションおっぱい理事長)

②パネルディスカッション

橋本新治氏(湘南たかとり福祉村)

石塚千津子氏(グリーンハイツ「ゆいの広場」「ら・らら」)

白岩貢氏・藤田実彦氏(みかん台団地自治会ボランティア会)

小見山雄次氏(助け合いハイランド)

コーディネーター 千場 純(本会代表)



Think about YOKOSUKA 2040